

スリナム月間情勢報告 (2019年9月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1. 概況

- 次期総選挙は来年5月25日と発表された。
- ボータッセ大統領は、スリナム経済は一時の低迷から回復し、成長率が上がっていると強調。野党側は、政府による必要ない借り入れの増大を批判している。
- 国連総会にアディーン副大統領が出席し、気候変動に対する地球規模の対応と気候変動資金へのアクセス改善を求めた。

2. 内政

- 2日付現地紙は、米州機構(OAS)薬物対策局(CICAD)の19年報告書で、スリナムは薬物対策評議会が薬物使用防止の啓蒙活動は行っているが、薬物対策計画や戦略が策定されていないとして低い評価を下したと報道。
- 28日付現地紙は、ボータッセ大統領は、今次任期中最後となる年次スピーチの中で、総選挙は20年の5月25日に行うと発表したと報道。
- 26日付現地紙は、ジョギ野党議員は、政府が世銀から借りた2,300万米ドルの借款は全く不要であったと批判したと報道。29日付現地紙は、ロシア野党国民党党首は、政府が民間貸付基金から5億米ドルも借り入れ、その担保に金鉱山が当てられようとしており、許容できないと述べたと報道。

3. 経済

- 2日付現地紙は、パーメッサー農業大臣はビソーザ・ブラジル連邦大学からの訪問団と会談し、両国の合意に基づく実施中のスリナムでの農業生態系区割及び環境教育強化及び拡大プロジェクトにつき協議したと報道。
- 9日付現地紙は、20年度予算案にはエネルギー公社が電力及び燃料購入、債務返済のための9億5,000万スリナムドルの補助金が含まれていると報道。
- 14日付現地紙は、13日アキエンボト天然資源大臣は中国電力建設との間で、内陸部の2つの村へ太陽光発電により24時間電力を供給する合意に署名したと報道。
- 24日付現地紙は、ウーフダド財務大臣は、インド輸出入銀行から乳製品工場改修及び滅菌乳製品生産のため1,113万米ドルの借款に署名したと報道。
- 25日付現地紙は、24日保健省は訪問中の中国咸寧伝統医療病院との間で漢方薬の分野での共同研究の覚書に署名した、ディカン地域開発大臣は咸寧市

副市長から招待を受け10月に同市を訪問すると報道。

●28日付現地紙は、ボータッセ大統領は議会での年次スピーチの中で、当国経済は15～16年の停滞から回復し、17年は1.8%、18年は2.6%を記録した、農業、畜産、漁業、林業、観光、エネルギー、建設部門が貢献したと述べたと報道。

●28日付現地紙は、中央銀行は2週間前に米連邦準備銀行から米ドル現金を回収したことにより、スリナムドルの対米ドルレートは8.30から7.52へ大きく下がったと述べたと報道。

●30日付現地紙は、ボータッセ大統領は20年度予算案での財政赤字は約13億スリナムドル、対GDP比4.3%に上ると発表したと報道。

4. 外交

●2日付現地紙は、1日スリナム中国友好協会の設立45周年式典が中国大使館で開催され、リュウ中国大使は同協会が相互理解や協力促進に貢献していることに謝意を述べたと報道。

●3日付現地紙は、昨年11月以降当地で操業を行っていたが、違法操業との判決を受けた中国漁船6隻は、3日出港したことが確認されたと報道。

●7日付現地紙は、アディーン副大統領は、コロンビアで他の南米6カ国と共にアマゾン熱帯雨林保護に関する協定に署名したと報道。

●8日付現地紙は、政府はハリケーン・ドリアンの大きな被害を受けたバハマに対し、飲料水、ミルク、ジュース等の搬送及び10万米ドルの緊急支援を行うと発表したと報道。

●16日付現地紙は、13日エリアス保健大臣及びウーフダド財務大臣はキューバを訪問し、ミランダ保健大臣及び医療局関係者等会談し、保健分野での両国間の協力強化につき協議したと報道。19日付現地紙は、両大臣はロシアを訪問し、貿易産業省、保健省、医療機器企業との間で医療機器の購入及びそのための資金につき協議したと報道。

●25～26日付現地紙は、アディーン副大統領等国連総会に出席し、気候変動に対して地球規模の行動が必要、気候変動対策資金へのアクセス改善を訴えた他、カリコム・インド首脳会合では、インドがカリブ地域のインド系移民の会合開催に主導すべきと述べたと報道。

●27日付現地紙は、25日ボータッセ大統領は中国建国70周年記念式典に出席し、両国関係は真の友人の関係と述べたと報道。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。